

地区名 由利本荘市・にかほ市

所在地 由利本荘市芦川

バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ × **水のはたらき**

露頭までの道のり

国道7号線沿い、由利本荘市芦川付近一帯に広がっているのが観察場所。近辺には駐車スペースが多数ある。

安全上の留意点

工事現場となっているため工事車両などには十分注意が必要。露頭に近づくために、やぶを歩いていかななくてはならない。また、観察している最中に細かい泥岩がぱらぱらと落ちてくることもある。作業は不安定な足場ですることになるので、児童と児童との間を両手間隔以上に離しておくこと安全である。

観察のポイント

- ①大きな地層の広がりを感じる。
- ②地層の手触りから粒の細かさを体感し、角ばった火山岩がないことを確認すること。



地質年代

新第三紀鮮新世前期(350～500万年前)

解説

天徳寺層と呼ばれる砂岩とシルト岩(粒の大きさは粘土より大きく、砂よりは小さい。泥岩と似ているので今後は泥岩と呼ぶことにする)との互層が見られる。砂岩や泥岩が層を作っていることや、観察地に落ちていた泥岩を割ると炭化した植物や貝の化石らしきものが見られるので「水のはたらき」でできた大地であることを判断できる。

白い帯状の層は、凝灰質砂岩(軽石含む)である。写真右下の方では児童でも掘れる高さになるので地層が奥まで続いていることを確かめさせるのもよい。

露頭概観

指導形式

B



露頭から取り出してもよいが、足下に落ちている泥岩を割ると、かなりの確率で黒く炭化した植物の化石が見つかる。ハンマーの使用は教師が行う。



場所によっては、円礫(角の取れた丸い礫)も見られるので、これも「水のはたらき」でできた大地であること材料に使える。



貝の化石らしきものもあったが、発見はなかなか難しかった。